

中学生の「税についての作文」優秀作品 『十日町納税貯蓄組合連合会優秀賞』

支え合い

十日町市立 中里中学校 3年
滝 沢 風 花

私たちは税金のことについて知らなくてははいけません。「税金なんていらない。」「税金がなければもっと安く買えるのに…。」と思う人もいるかもしれません。しかし税金が無くなるとどうになってしまうのでしょうか。

私たちの暮らしには税金や費用が必要不可欠です。例えば、警察では人員不足や必要なパトカーや警棒などの機能が低下してしまうかもしれないという点が挙げられ、街や地域では、交通整備がいき届かない、公共施設などが建てられなくなるという点も挙げられます。私たちが生活する中では、ある費用を負担したり、保険に入ったりしなくてはいけないものもあり、今までにも保険や費用を負担していなかったことの事故の事例も起こっています。やはり私たちの生活の中では税金等が必要だということが分かります。

私は小さい頃、何回も病院にお世話になっていました。その時はまだ体も小さくとてもつらい思いをしました。費用は安く済みました。それはなぜかと言うと税金があってこそそのことです。税金があってこそ、こども医療費助成制度という制度などが作られたのだらうと思います。私は、このような制度などのおかげで、費用を軽減できていることには素晴らしいと思っています。世の中には重い病気をもっていて費用に困っている人がいるかもしれないと考えると、少しでも速く少しでも安く費用が済み、助かってほしいと願っています。これからもどんどん自分達が税金を負担する一方、我々の生活を支えられる制度などが増えていったらいいなと考えます。私たちはまだ税金の大切さに気づいていないのかもしれませんが、でも少しずつ日常の中で、大切さに気づいていけばいいんです。税金は大きな事業で使われている遠い存在のように感じているかもしれませんが、身近で私たちのことを支えてくれている存在なのです。

税金は私たちの友達かもしれません。もし病院が建てられてなかったら、消防署などがなかったらと思うと、今、私たちはどうなっていたらう。だから税金のことは知らなくてははいけない。これからの私たち、次世代の人たちのために。税金のことは考えなくてははいけません。決していらないのだと考えてはいけません。税金のおかげで豊かに生活ができていますからです。私たちが成長する中で、恩返しができるようになりたい、税金を通して支え合いができればいいなと思います。